

# けせん医報



## 目次

- 巻頭言「進む医療の ICT」  
気仙医師会副会長 えんどう消化器科内科クリニック  
院長 遠藤 稔 弥… 2
- 理事会報告 …………… 3
  - 令和 4 年度第 3 回理事会報告 …………… 3
  - 令和 4 年度第 4 回理事会報告 …………… 5
- 随 想  
「あなたを守るパスワード」  
医療法人 飯塚眼科医院 院長 飯塚 和 彦… 7  
「GFをめぐる話」  
岩手県立大船渡病院 副院長 星 田 徹… 8
- 研修医日記  
岩手県立大船渡病院二次臨床研修医 遠藤 泉… 9
- 令和 4 年度在宅医療人材育成研修会  
「在宅医療と漢方 ～食べる・寝る・出す～」  
センブククリニック 院長 千 福 貞 博… 10
- 令和 4 年度小児科救急医師研修事業ブロック別医師研修会  
「当院救急外来における小児科の受診状況について」  
岩手県立大船渡病院小児科  
小児科長 伊 藤 潤 … 11
- 事務局日記 …………… 13
- 編集後記 …………… 13
- 表紙のことば …………… 14



第 1 6 2 号  
2022. 12. 20

気仙医師会  
岩手県大船渡市盛町字内ノ目 6 - 1  
TEL:0192-27-7727 FAX:0192-26-2429  
<http://kesen-med.or.jp/>

# 巻頭言



## 「進む医療のICT」

気仙医師会 副会長  
えんどう消化器科内科クリニック 院長

遠藤 稔 弥

ICTの普及で我々の負担は軽減しているのだろうか？

紙カルテから電子カルテとなり普及率は年々上昇してきている。震災後始まった未来かなえネットは運用開始後6年が経過し、システムとして熟成してきた。当院では、端末が離れた場所にあるため機構に相談し、リモートアクセスが可能となってからは使用頻度が増えて重宝している。さらなる機能追加に期待したい。マイナンバーカードの保険証利用が始まったが、その使用率は低く、処方箋の電子化も控えているが普及には時間がかかりそうである。学会や会議のハイブリッド形式での開催は、コロナ渦で頻度が増している。3密を回避でき、遠隔地での開催の際には移動時間がないなどのメリットが大きい。ただ、対面でないと共感が得られず成果が出にくいという報告もある。オンライン診療もコロナ感染拡大後導入が進んだ。しかし、診療報酬、システム利用コスト、電子カルテとの連携などの問題もあり全国的には普及は頭打ちになっているようだ。

現時点ではいろいろなシステムが混在しており、その連携が課題であろう。保険証と連携するマイナンバーカードは、スマホで、診療を受けた病院の処方、診療内容、健康診断のデータまで確認できてしまう。将来的にはすべての個人情報マイナンバーカードに全部統合されてしまい、財布の中のカードは1枚という時代が来るかもしれない。先の震災時は停電によりすべての電子機器が使用不能になった。被災した施設ではPCの水没で電子カルテデータが消失しリカバリーできなかつたところもあったようだ。緊急時のアナログ診療対応の備えも必要である。

今後ICTの導入はさらに加速すると予想され、導入のコスト、操作方法の習得、セキュリティなどの不安はあるが、システムの改良、統合によりデメリットが解消され、より安全で使いやすいものになり我々の負担を軽くしてくれることを期待している。

# 随 想



## 「あなたを守るパスワード」

医療法人 飯塚眼科医院

院長 飯塚和彦

インターネットが広く使われるようになって以降、パソコンを買い替えた時、訪れたウェブサイトでメンバー登録する時、スマートフォンでアプリを使い始める時、これらの時のように、ネットを介して新たなことを始める状況で求められるのが、ユーザー名、パスワード等の設定です。パソコンやスマートフォンを使っていれば、誰しも経験があると思います。小生の場合、現在使用しているパスワードは、大まかに数えて60個程ありました。

このパスワード等の設定がなかなか厄介です。特にパスワードは、「777」、「1234」などの単純な数列や、生年月日、電話番号などの個人情報の流用は、禁止されていたり、大文字と小文字のアルファベット、数字からなり、これら3種の文字種を最低1文字は使い、半角8文字から20文字、といった条件が付けられていることもあります。短いもの、単純な数列、個人情報からの類推が容易なものは、パスワードを盗まれやすいので、避けるべきです。ネットショッピングのウェブサイトにユーザー登録する、ネット上で決算に用いるキャッシュカードを登録する、などお金の絡む操作では、設定項目は、ユーザー名(実名、漢字、フリガナ)、パスワードは数種要求されることもあります。その他、個人情報、家族の情報、就労に関する情報、収入、預金額、借入額、などなど、数十項目にも及びます。登録した情報を全て記憶しておくことは困難です。控えておく必要があります。

上述のパスワード等の設定で、検討しなければならないのが、登録した情報の保管方法です。ネットからアクセスしにくい順に、それはすなわちネット上から盗み見られにくい順でもありますが、① 紙に書き出す、② 外付けハードディスクやUSBメモリーに保管、③ パソコンやスマートフォン内に保管、④ クラウドに保管、などが考えられます。①は、ネット上で盗み見られることはありません、最も安全です。欠点としては、コピー&ペーストできない、紛失する、などがあります。②は、不要時は、パソコン等から外しておけば、盗み見られることはありません。紛失するリスクは、紙と同様です。③と④は、ともにアクセスは容易、ネット上からの盗視のリスクも大きい。違うのは、③は、自分の意志で電源を切ったり、ネットとの接続を遮断したりできます。④は、そこに自分のデータを預ければなしにすることになり、セキュリティーは、クラウドの運営会社次第です。有名どころのクラウドを選ぶのがいいでしょう。

パスワードは、個人情報を守る最重要アイテムです。長くて無意味な文字列が推奨され、1年に1回程度の頻度で、更新するのがお勧めされます。また、パスワードの保管方法は、上述の①から④のうち、①、②の併用が安全でよさそうです。私見ですが…

# 「GFをめぐる話」

岩手県立大船渡病院

副院長 星 田 徹

言わずと知れたゴッドファーザーの話です。1972年だから50年前の映画ですね。私世代の男子には根強い人気があって、よくパロディ・引用されたりしています。これも古いですが、メグ・ライアンとトム・ハンクスのロマコメ『ユーガットメール』でも、何かとゴッドファーザーを例えに出す男にメグ・ライアンが「どうして、男はみんなゴッドファーザーが好きなの？」とあきれるシーンがありました。

第二次大戦後ニューヨークのマフィアの話。マーロン・ブランド演じるカリスマ性のあるドン・コルレオーネ、暴れん坊の長男ソニー、気弱な次男フレド、マフィアを嫌い大学に進んだが運命の波に飲まれてマフィアのドンになっていく、父の資質を受け着いた三男マイケル。マフィアの抗争の話を軸に、イタリア系移民の家族の愛と悲しみ的一大叙事詩です。登場人物が多く、1回見ただけでは理解しがたいのが難点ですが、見れば見るほど面白い。お話は皆さんご存じのこととして、人物や台詞について。

ソニーを演じたジェイムズ・カーンも今年亡くなってしまいました、まさに当たり役だったのですが、その後はほとんど見かけませんでした。スティーブン・キング原作のホラー『ミザリー』くらいですね。次男フレドのジョン・カザールは早くに亡くなってしまいました。『ディアハンター』での脇役も印象的。冷静な相談役トム・ヘイゲンを演じるロバート・デュバルが同じコッポラの『地獄の黙示録』では大音量で『ワルキューレの騎行』を鳴らしながらヘリで爆撃する狂気のキルゴア中佐を演じているのが意外。夫に暴力をふるわれる傭けな末娘だったコニー（ロッキーのエイドリアーン）が、パート3ではドンの影で暗躍するマフィアの女帝みたいになっているから驚きです。

ドンの「相手が拒否できないオファーをする」という台詞が有名です。ドンは思慮深い組織のトップに描かれているので、権謀術数を尽くし交渉をまとめる、みたいにも聞こえますが、その実けっこうえぐい暴力で脅しています、そりゃ拒否できないだろうよ、という感じです。

抗争の際、アパートの部屋にマットレスを敷いて戦闘員が泊まり込むことから、抗争状態に入ることをGo to the mattressesと言うのですが、この台詞もよくパロディにされています。

裏切り者を始末しに幹部のクレメンザが出かけるとき、奥さんが「カンノーリ（イタリアのお菓子）買ってきてね」と声をかけます。裏切り者を車で射殺して去り際に、クレメンザが手下に「銃は置いてけ、カンノーリは持ってこい Leave the gun. Take the cannoli」と言う。だから何なの、としか言いようがありませんが、この台詞がマニアの間では人気です。カンノーリというお菓子はパート3でも重要な役を演じます。カンノーリ食べてみたいのですが、どこかこの辺で売ってないでしょうか？

とりとめない話ですが話題は尽きないので、続きはまたお会いした時にでも。

# 研修医日記



岩手県立大船渡病院 二年次研修医

遠藤 泉

この文章を書いている時点で、既に研修医生活2年目の11月に入りました。研修が始まり、病棟内で右往左往していた時期がついこの間のように思うと共に、時間の早さに愕然としております。研修医生活についても、今も決して慣れたと感じることはありません。思い返せば、自分が研修を始めた当時はカルテの開き方すらわからず、国家試験の知識は基礎でしかなかった事を改めて痛感したことから始まりました。臨床の現場に立って初めて、今まで学んできた知識は、こういう場で使うのかと実感する場面ばかりであり、進級試験や国家試験で学んできた内容が全く活かしている気がしませんでした。新たに覚える病棟業務に追いつけず、初めての救急対応では上級医や2年次の先生方にいつもお世話になり、自分が来年、再来年と人に教えたり自身で判断していく立場になっていくことが全く想像出来ませんでした。振り替えると最初の1年は当時の2年次がとても頼もしく、1年後に先輩方のようにになれる自信もなく、常に不安が付きまといながらの研修だったように思います。それでも患者さん方にとっては、自分も「先生」と呼ばれる立場であり、その意識と現実の解離が恐ろしく、とても無責任なまま試験を受けてきた自分の甘さを痛感しました。そんな不安な状態の1年が過ぎ、2年次研修医になったばかりの頃、1年次がいるという状況に不思議な感慨を受けていましたが、積極的に臨床の現場に立ち、様々な知識や手技を吸収していく彼ら1年次の姿勢に何度も励まされ、改めてここで研修することができてよかったと感じるようになりました。それでも自分よりもはるかに優秀で積極的な1年次達が、各々の研修科で悩んだり落ち込んでいたりする姿を見ることもあります。ですが、たすき掛けで数ヶ月間大船渡病院を離れてから大船渡病院に戻ってからは、彼らの成長の目まぐるしさを見ることが出来てとても頼もしく、嬉しく感じた自分がいました。

そんな研修医生活も残すところあとわずかとなり、同期の皆も既にそれぞれの決めた科や将来に向けて動き出しています。やはりこの時期になると進む診療科について聞かれることも多く、まだ科について迷っている自分にははっきりと答えることが出来ません。ただ、どこを選択したとしても最終的に自分で選択した責任を忘れずにいたいと思います。

今後の自分については、決めたこと、まだ先行きが不透明なこと、これから新たに学び続けていくことなど課題や不安をあげていくと切りがありません。ですが、恐らくどの科を選択しても新しい壁にぶつかることになると思います。同時に、どの科を選択してもその科ならではのやり甲斐や楽しさも必ずあり、それを知るには一生学び続けていくしかないのだろうと思います。今まで受けてきた進級試験と違い、患者様の背景や家族関係によっては治療法含めて、正解の出ない悩みを持つこともあります。そういった経験もきちんと受け入れながら、今後も精進していけたらと考えています。そして同期として出会った研修医の人達や、看護師さん方をはじめとした医療従事者の方々に支えられているからこそこの2年間の研修を過ごす事が出来ている事実を忘れずにいたいと思います。

# 令和4年度在宅医療人材育成研修会

【岩手県委託事業】

## 「在宅医療と漢方 ～食べる・寝る・出す～」

演者 センプククリニック 院長 千福貞博 先生

令和4年10月27日（木）大船渡プラザホテル（会場+Web配信）を会場にして、令和4年度在宅医療人材育成研修会が開始された。座長は、陸前高田市国保二又診療所所長岩井直路先生、演者は、センプククリニック院長千福貞博先生に、「在宅医療と漢方～食べる・寝る・出す」と題して、大阪市からLIVE配信によりリモートでの講演いただいた。



千福貞博先生は、漢方薬の効能と使い分けについて、①問診で得られた「症状」から選択し使い方を覚える初心者コース、②漢方診察の情報で確証を得て処方する中級者コース、③古典漢方薬理学・現代薬理学で確認し薬効を理解して処方する上級者コースに分け、漢方薬一つひとつを具体的に示して説明された。また、講演会や専門書により知識を得ても使用しないことは意味のないことを力説し、臨床現場での活用を促すとともに、医療の質の向上を図るため、漢方薬を積極的に使用することについて、医師及び薬剤師、ケアマネ等に対して分かり易く講演いただいた。





## 令和4年度小児科救急医師研修事業ブロック別研修会

【岩手県医師会委託事業】

### 「当院救急外来における小児科の受診状況について」

演者 岩手県立大船渡病院小児科 小児科長 伊藤 潤 先生

令和4年11月30日（水）例年開催している小児科救急医師研修事業ブロック別医師研修会が岩手県立大船渡病院3階大会議室を会場に開催されました。伊藤俊也総務部長が座長を務め、岩渕正之会長からの主催者あいさつに続き、講演が行われました。

岩手県立大船渡病院小児科科長伊藤潤先生から「当院救急外来における小児科の受診状況について」と題し講演していただきました。

伊藤先生は、令和4年10月の救急外来を受診された患者の中で、小児科受診の患者が何人いたかについて調査を行った結果1,300人以上の方が受診され、うち小児が300人（23.5%）を超える状況にあったこと。



また、夜間に受診された小児が180人（23.5%）を超えていたことや男女別でみた場合女児より男児が多かったこと。年齢では1歳児の受診が最も多く、年齢が上がるにつれて少なくなること。受診された患者の訴えは、発熱が最も多く、次に上気道症状、体外傷、頭痛の順であったこと。更には、発熱で受診された小児のうち35.4%が、上気道症状においては32.5%の小児が新型コロナウイルス感染症の陽性者であったことなどについてデータを示し、丁寧、詳細に説明いただきました。伊藤先生からは、1ヶ月分のデータを分析するのに20時間以上も要したことなど、講演の前日までかかりまとめた苦労話も伺いました。最後に参加された救急隊員の方々に対し、意識状態、体温、血圧、呼吸数、SpO<sub>2</sub>について、意識がなくなる前の状況、意識がなくなっている最中の状況、意識が改善した後の状況などについて、病院への搬送時には医師に対し、詳しく説明いただきたいとのお願いがあり講演を終えました。

なお、新型コロナウイルス感染症の新規感染者拡大の影響もあり、参加者は、医師、消防署員等総勢45名でした。



## ●●● けせん医報へのご投稿募集 ●●●

本誌は、気仙医師会の広報誌です。年3回、4ヶ月ごとに発行しております。  
会員の皆様や本誌をご覧になられた方からのご投稿をお待ちしております。

セミナーや勉強会、各種医療活動、思い出、エピソード、感想、トピックスなど、  
ご自身が掲載を望むものがありましたら、是非、ご投稿下さい。お待ちしております。

気仙医師会広報部 部長：吉澤 徹  
事務局担当：寺澤、佐藤

TEL：0192-27-7729  
FAX：0192-26-2429  
E-mail：mail@kesen-med.ne.jp



## 編 集 後 記

2022年も残すところあとわずかになりました。何かとご多忙の折、執筆いただいた先生方に厚く御礼申し上げます。

巻頭言はICTについて。だいぶ生活に浸透してきたように思います。便利な反面セキュリティなどの不安もあります。今後もさらに良い方向に発展していくことを期待したいですね。セキュリティといえばパスワード。とてもいい流れです。保管方法、私は①と③を主に使っていました。③はとても楽ですけどリスクがありますね。②の導入を検討したいと思います。そしてゴッドファーザー。時間を作ってゆっくり腰を落ち着けて観たい映画です。「カンノーリ」は今年話題になりましたね。セブンイレブンでも販売しているらしいです。

研修医日記は大好きな企画です。不安な気持ちとてもよく分かります。周りの先生方や看護師さん、医療スタッフの方々にいつまでも感謝の気持ちを忘れずにいたいですね。

それでは2023年が皆様にとって素晴らしい一年でありますように。来年もどうぞよろしく願いいたします。

〈G.Y〉

### 表紙のことば

3年ぶりに開催された「大船渡市産業まつり」の様子です。プラザホテル裏の大船渡防災観光センター前で行われました。コロナ禍によりいろいろなイベントが中止されていましたが、少しずつ回復の兆しが見えてきたように感じます。

(写真提供：村田プリントサービス)